



《大会スローガン》
「結(ゆい)」笑顔で未来をつくる
～子どもと一緒にウェルビーイングの実現を信州から～

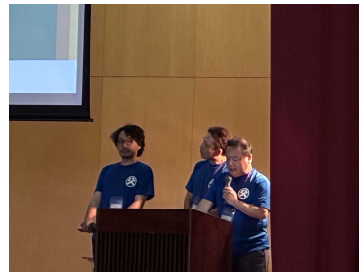
大会1日目 第1分科会 (長野市立城山小学校)

県内各地区から、64名の皆様が参加されました。

大会1日目の分科会は、本県から高萩市立秋山小学校PTA・同中学校PTAの皆さんが、地域の方とともに「秋山コミュニティースクール」として発表をされました。

第1分科会の「地域連携」のテーマに沿って、コミュニティースクールの先進的な事例を動画や写真を交えたプレゼンで、明快に発表されました。段ボールハウス実践や保・幼・小・中・地区で作る広報紙など秋山地区の取組を分かりやすく発表され、参加された皆さんから盛大な拍手をいただきました。

発表の準備から練習まで綿密に計画し取り組んでいただいた、秋山コミュニティースクールの皆様、高萩市P連の皆様、本当にありがとうございました。実に素晴らしい発表でした。



大会2日目 全体会 (ホクト文化ホール)



全体会のメインは2つのセッションです。

セッション1では、長野県PTAが事前に呼びかけ「ウェルビーイングジュニアサミット」を県内外の中学校で実施し、参加した代表3校の生徒会役員が登壇し、パネルディスカッションを行いました。中学生の堂々とした発表ぶりに拍手です。大人も負けてられません。

セッション2では基調講演として、放送作家 野々村友紀子氏が登場しました。「強く生きるためのヒント」と題して、「あのね～」と名調子で話し始めました。

家事分担をするのに、目に見えない家事を書き出し211の家事の分担を見える化すること。やったことをいちいち報告し合わないことなど、思わずうなずく話がありました。また、いやなことをくよくよしたり、まだ起きてないことを悪い方向に想定して悩んだりすることは、分かるけど、時間の無駄と切り捨てる。時間はポジティブなことに使う。と思わず納得の講演でした。

今回のながの大会は、児童生徒の活躍の場を設定して、参加者が児童生徒とも関わりを持つという、新しい試みがありました。参加者もたくさんの刺激を受けた大会でした。